

小集会

小集会 1 9月4日 17:00~19:00

第22回 昆虫の季節適応談話会 (A会場)

世話人：田中一裕 (宮城学院女子大学)・後藤慎介 (大阪市立大学)

W1A1 谷山 克也 (東北大・院農) エンマコオロギのいま、むかし。

-温暖化がエンマコオロギに与えた影響-

W1A2 寺尾 美里 (南九州大・フィールドセンター) マメハンミョウの過変態と環境適応能力

W1A3 綱島 彩香・津久井 岳・本田 知大・○糸山 享 (明治大・院農) ツヤアオカメムシの越冬における特徴について

日本半翅類学会 (B会場)

世話人：伴 光哲 (千葉中央博)

W1B1 相馬 純 (九州大学 昆虫学教室) 標本の集まらない分類群を記載する

-日本産グンバイムシ科を例として-

昆虫の家族をめぐる進化生態学 (C会場)

世話人：鈴木誠治 (北大院・農)・工藤慎一 (鳴門教育大・院・学校教育)

W1C1 工藤 慎一 (鳴門教育大・院・学校教育) ミツボシツチカメムシにおける孵化前給餌と孵化後給餌の深遠な関係

W1C2 ○稲垣 辰哉 1・柳原 早希 2・淵側 太郎 3・松浦 健二 2 (東工大院・生命理工 1・京大院・農・昆虫生態 2・大阪市立大院・理 3) “腸内微生物パルス” がシロアリの両親による子への給餌を支える

W1C3 高田 守 (京大・農・昆虫生態) モンシデムシにおける給餌を巡る親子間コミュニケーション

昆虫分類学若手懇談会シンポジウム「若手昆虫分類学者の生き残りシンポジウム」(D会場)

世話人：井上翔太・辻 尚道 (九大院・生資環・昆虫、昆虫分類学若手懇親会事務局)

W1D1 大島 一正 1, 2 (京都府立大学・大学院生命環境科学研究科 1・新自然史科学創生センター 2) 自分が本当に興味のあることに挑戦する

W1D2 清水 壮 (神大院・農学) 記載論文の効率的な執筆と投稿戦略

W1D3 寺田 剛 (公益財団法人岡山県環境保全事業団) 趣味の分類 ~職業研究者以外の道で分類学もしながら生き残る~

小集会 2 9月5日 17:00~19:00

多新翅類を語る会：今がアツい、ゴキブリ特集 (A会場)

世話人：立田晴記（琉球大・農）・久我 立（九大・理）・大崎遥花（九大・理）

W2A1 柳澤 静磨（竜洋昆虫自然観察公園）新顔ゴキブリのはなし

W2A2 ○松浦 優 1・盛口 満 2（琉球大・熱帯生物圏研究センター1・沖縄大学 2）日本初の
ゴキブリ生冬虫夏草クチキゴキブリタケ ～その進化的起源と生態に関する考察

W2A3 金城 幸宏（沖縄科学技術大学院大学・進化ゲノミクスユニット）ゴキブリの細胞内
共生細菌 *Blattabacterium* の紹介とそのゲノム進化について

W2A4 大崎 遥花（九州大・理・生物）生物初：オスメス両性による性的共食いを行う
ゴキブリ

昆虫担当学芸員協議会 (B会場)

世話人：松本吏樹郎（大阪市立自然史博物館）

W2B1 大島 康宏（三重県総合博物館）コロナ禍におけるオンラインを活用した野外観察会の
実施例 -ライブ配信とオンデマンド配信

W2B2 松本 吏樹郎（大阪市立自然史博物館）新型コロナ拡大下における博物館普及活動

帰ってきた DNA バーコーディング～いまこそバーコーディングを盛り上げよう～ (C会場)

世話人：岸本圭子（新潟大学）・中濱直之（兵庫県立大学） コメンテーター：神保宇嗣
（国立科博）

W2C1 ○岸本 圭子 1・中濱 直之 2（新潟大 1・兵庫県立大 2）趣旨説明：日本産昆虫の DNA
バーコードライブラリの現状

W2C2 今藤 夏子（国立環境研）水生昆虫の DNA バーコード収集と公開、環境 DNA 解析への
応用

W2C3 山迫 淳介（農研機構）分類研究と連携協力した DNA バーコード情報整備

W2C4 中濱 直之（兵庫県立大）DNA バーコードデータ構築のための手法紹介～基礎から
最先端まで～

W2C5 伊藤 元己（東京大）昆虫のマルチプレックスバーコーディング用プライマーの開発